

サクラオフェリア

Euzonus arcticus Grube

オフェリアゴカイ目オフェリアゴカイ科

石川県カテゴリー

地域個体群

国カテゴリー

なし

選定理由

我が国で最初に発見されたのが金沢市の金石海岸、2007年に金沢市在住の川原英氏らにより新称和名が提唱された。

形態

体形はみみずりに似ている。頭部は先が尖り、後方は丸く膨らみ、胸部(中部)は円筒形で深い溝がある。腹部(後部)には枝分かれした樹枝状のエラが対に並ぶ。体長は5~6cm、頭幅が4~5mmに成長し、生時の体色は鮮やかな赤色、または小豆色で背面は虹色または薄紫色。

国内分布

石川県、北海道余市他。

県内分布

白山市倉部からかほく市内灘にかけての砂浜海岸。

生態

砂の直径が約0.3~0.5mmのやや粗めの汀線付近で、約20cmの深さに潜って生活している。産卵期は夏。

生息地の条件

細かい土砂の堆積や人為的攪乱による砂の粒度組成に変化がないこと。

生存の危機

日本で最初に発見された金石海岸は、堤防や離岸堤の設置による砂浜の粒度組成が変化し、生息環境が不適となって絶滅した。

特記事項

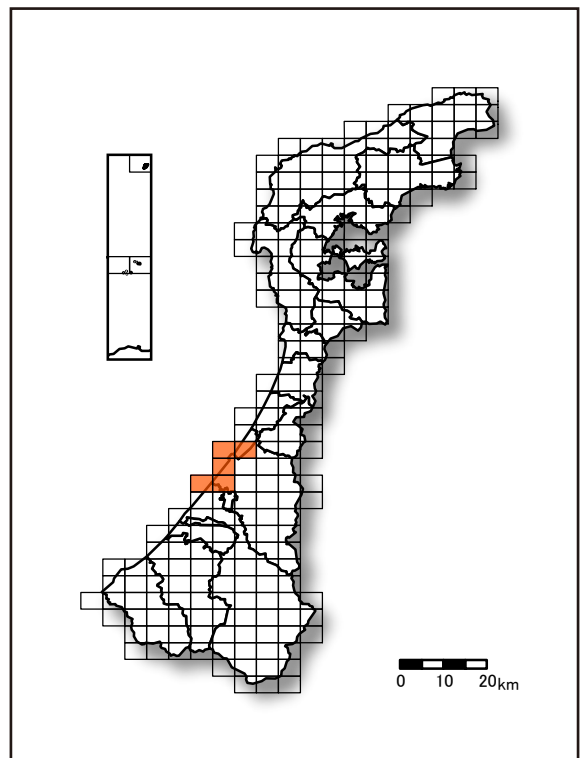
金沢市金石の地元民はオフェリアゴカイの仲間をサクラミミズと呼び親しみ、釣りの餌として利用していた。本種の模式産地はロシアの北極海である。

参考文献

- 安田作二郎. 1936. 金石海岸産多毛類 *Thoracophelia yasudai*. 石川懸天然記念物調査報告, 第9輯, 63-70.
- Imajima, M. and O. H. Hartman. 1964. Polychaetous annelids of Japan, Part II. Allan Hancock Foundation Publications Occasional Paper, (26): 239-452.
- Okuda, S., 1934. Description of a new Polychaete *Thoracophelia yasudai* n. sp. Journal of the Faculty of Science, the Hokkaido imperial University, series 6, 3: 169-175.
- 川原 英・美坂 正・坂井恵一. 2007. 石川県の砂浜海岸に生息する2種のオフェリアゴカイ. 能登の海中林, (27): 5-6.
- 坂井恵一. 2008. 石川県に分布する2種のオフェリアゴカイ. うみうし通信, (58): 2-3.



写真提供者: 坂井恵一



県内の分布